

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.854
2019.11.3

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき とば めぐみ
とりうみ敏行 金子 あきよ
松村 としお たけこし 連
久保 みき

730項目

市民のねがい実現へ

2020年度 予算要望を提出



10月21日、日本共産党さいたま市議団は清水勇人市長に対し、2020年度の市政運営及び予算編成に対する要望書を提出し、懇談しました。要望は市の財政運営のあり方から行政区ごとの身近な要望まで、730項目にわたります。

市長との懇談では、神田よしゆき団長より、台風19号の影響で全国各地に甚大な被害が発生し、市内でも被害が出たことを受け「防災対策をきめ細かく整え、災害につよいまちづくりをさらに進めていく必要がある。党市議団には、防災無線が聞こえなかった、市のホームページにアクセスが集中してしまっただけで開けなかったなどの声が多く届いているため、できるところから改善を求めたい」と話しました。市長は「防災無線が聞こえないという声は市にも届いている」と応じ、災

害対策の必要性について意見交換しました。

予算要望では、今回あらたに「納税相談において相談者の希望があれば帯同者の同席を認めること」「若い世代の自立支援、定住支援のための住宅家賃補助制度を創設すること」「部活動のありかた指針を現場に徹底すること」「男性市職員の育休取得率を計画的に引き上げること」「加齢性難聴者への補聴器補助制度を創設すること」「不妊治療への補助金を拡充すること」「公園遊具を早急に改修し子どもたちが遊べるようにすること」「Saitama city free Wi-fiの整備・拡大をおこなうこと」などの要望をつけくわえました。

今後、新年度予算でどのように反映されるのかをチェックするとともに、引き続き市民のねがいを届けていきます。

災害でみえた課題

台風19号に関する緊急申し入れをおこなう



党市議団は10月21日、清水市長に対して予算要望書を提出した際に、台風19号に関する申し入れも緊急におこないました。市長は「できることは限られているが、精いっぱい対応したい」と応じました。要望項目は以下のとおりです。

1. 避難について

- ①防災無線について、市民に必要な情報が適切に届くよう改善すること
- ②避難所に車で来る住民がいる場合を想定して、駐車スペースを最大限確保すること
(小・中学校のグラウンドの開放、公共施設、近隣の民間事業者との協定等)
- ③避難所を増やすこと。特に公民館やコミュニティセンターなどを一時避難所として開放するよう検討すること
- ④指定緊急避難所としての福祉避難所を整備すること
- ⑤広域避難については、民間バス会社等と協定を結び、要配慮者の移動手段を確保すること
- ⑥災害時でもつながるよう、市ホームページのサーバーを強化すること

2. 避難所について

- ①避難所開設と同時に、地区の防災備品を避難所に運び入れておくこと。備蓄品や避難所の備品について、現場の職員の権限で使えるようにすること
- ②指定緊急避難所内に、障がい者が安心して過ごせるスペースを確保すること
- ③ペットの同伴避難所を設置すること
- ④内閣府「避難所運営ガイドライン」でも推奨されているスフィア基準を採用し、家庭ごとの間仕切り、段ボールベッドなどを備蓄すること
- ⑤テレビを設置し、災害情報が入手できるようにすること
- ⑥市ホームページに掲載されている情報を印刷して張り出すこと

3. 被災者支援について

- ①浦和卸売市場など民間業者への支援を強めること
- ②農業者への営農支援を行うこと
- ③福祉施設への支援を行うこと
- ④消毒を迅速に無料で行うこと(家屋内も含めて)

決算特別委員会 企業会計

市立病院
事業会計

10 月 8 日、金子あきよ市議は、病院事業会計について質問しました。

市立病院は、地域周産期母子医療センターとして、リスクの高い妊産婦の受け入れをおこなっています。あわせて、市内には分娩できる産科施設が少ないため、妊娠 35 週程度

安心して出産できる
周産期医療を

まで地域の産科で妊産婦検診をし、分娩だけを市立病院でおこなうセミオープンシステムを運営しています。金子市議の質疑で、セミオープンシステムの利用は、2018 年度で 178 件、連携している施設は 21 施設あることが分かりました。

金子市議は「ハイリスク妊婦・新生児の受け入れも増加しており、市立病院の果たす役割は大きい」として、安心して妊娠・出産できる周産期医療体制の充実を求めました。

上下水道
事業会計

10 月 8 日、神田よしゆき市議は水道および下水道事業会計について質問をしました。

神田市議が、2018 年度の水道事業の経営指標について、それぞれの計画値と実績を質したのに対し、市は「純利益は計画で 45 億、実績 53 億。総収支比率は計画 117%、実績

水道事業会計の黒字で
料金引き下げを

120%。累積資金剰余金は計画 22 億、実績 103 億だが、翌年の使用予定分を除くと 77 億円になる」と答弁しました。

神田市議は、「2020 年度までの中期経営計画で、市は水道料金の体系の検討が必要だと答弁してきた。他都市の状況も踏まえて水道料金のあり方を検討すべきだ」として、料金引き下げを強く求めました。下水道の受益者負担についても、他政令市でもっとも高いことを指摘し、負担金の廃止・減額を求めました。

決算特別委員会 まちづくり委員会関連

1 m²単価 204 万円の公共床!?
民間再開発に
多額の税金投入を見直せ

市 数字が固まったうえでいろいろなやり取りがあったものと思う。

とりうみ 2017 年 2 月議会では公共床は 1 m²単価 180 万円と説明されていた。204 万円は新たに取得する床が増えたのか。

市 内装費の 37 億円を含むもので、含まない場合が 180 万円、含める場合が 204 万円である。

質疑を通じて、市から納得のいく答弁はありませんでした。この事業の問題点は、民間の再開発事業でありながら、多額の税金を投入して、民間再開発を誘導しようとする事です。今後計画されている「浦和駅西口南高砂地区」の再開発も「市民会館うらわ」を入れ込んで税金を投入しようとしています。とりうみ市議は、このような再開発事業はただちに見直すよう求めました。

10 月 7 日、決算特別委員会（まちづくり委員会関連）の審査がおこなわれ、党市議団からとりうみ敏行市議が質問にたちました。

はじめに、総事業費 620 億円の大型開発である、大宮駅東口大門 2 丁目の民間再開発についてとりあげました。市はこの開発に「市民会館おおみや」を入れ込んで、市の占有床（公共床）だけで 1 万 5300 m²の床を 312 億円で購入します。1 m²あたり、なんと 204 万円です。業務床 85 万円、商業床 111 万円などと比べてもあまりに高すぎます。

とりうみ わずか半年の間に市の補助金が 79 億円から 89 億円に、国の補助金も 81 億円から 83 億円へ増えている。どんな見直しがおこなわれたのか。

あなたの身近な議員です



市議(北区)



市議(浦和区)



市議(緑区)



市議(桜区)



市議(見沼区)



市議(南区)



市議(中央区)

神田よしゆき とりうみ敏行 松村としお 久保 みき とばめぐみ 金子あきよ たけこし連